

ピアノ指導における2名の指導者と学習者による “評価的やりとり”の有効性について

Effectiveness of an Interactive Evaluational Method between two piano teachers and student

杉山 祐子¹⁾・今村 初子²⁾・葛谷 悦子²⁾・田中 智子²⁾・富沢 杏安音²⁾
 丹羽美枝子²⁾・橋本 亜紀²⁾・村瀬 潤子²⁾・森 摩樹²⁾・和田 早苗²⁾・岡田 泰子¹⁾
 Yuko SUGIYAMA, Hatsuko IMAMURA, Etsuko KUZUYA, Tomoko TANAKA,
 Ayane TOMIZAWA, Mieko NIWA, Aki HASHIMOTO, Junko MURASE,
 Maki MORI, Sanae WADA, and Yasuko OKADA

抄録：保育者養成校では、ピアノの授業において同時に複数の教員が授業に関わっている。したがって、1名の学習者に対し2名の指導者が指導する体制となる。複数の視点による指導を同時に受けることになる学習者にとって、指導視点の広さが利点となる半面、指導の視点のずれが学習者の戸惑いとなることがある。そこで、2名の指導者の連携による書面での“評価的やりとり”を実施した。この指導者連携による取り組みが、学習者の技術面・意欲面に対し有効であったかを確認するため、学習者への質問紙調査を行った。その結果、多くの学習者は指導者連携の助言は、技術面・意欲面で有効であったと回答したことから、この取り組みの成果が見られた。しかし、2名の助言の受け入れがうまくいかない学習者の意見も見られ、指導者側の学生理解の共有と指導の連携の強化の必要性があった。また、出来るだけリアルタイムでの助言が可能となるよう、e-Learning等の学習システムの検討もしていくことが課題として示唆された。

キーワード：ピアノ指導者、文章化、助言、書面

I. 問題と目的

ピアノ指導は、本来「お稽古事」として、指導者と学習者の1対1のレッスンが主であり、長期間かけて技能を向上させていくことが中心であった。保育士・幼稚園教諭にもピアノ技能は欠かせないことから、保育者養成校（以下、養成校）では授業として位置付けられている。杉山(2014)や鈴木(2015)の報告にもあるように、1対1の個人レッスンと、集団での指導であるグルーブレッスンを交互に組み合わせている指導形態がある。この2種類の指導形態で授業を実施することで、2名の指導者が1名の学習者を指導していることにもなる。図1は、この指導形態を图示したものであるが、この指導の長所は指導者

の個々の特徴が相互に影響し合い、相乗効果が期待できる。しかし、短所も生じる。例えば、指導者は担当する学習者と2週間に1度の対面になり、学習者の様子を週1度のペースで継続的に把握することが困難なこともある。2名の指導者は、養成校の特徴である短期間でのピアノ技能習得という目的に向けて指導を行っているとしても、学習者によっては2種類の指導に戸惑いを持つ様子も見受けられる。その際、指導者間で担当の学習者の学習状況などを引き継ぐ作業や、学習者に2名の指導者の意図を丁寧に伝える方法が課題と示唆されている。

この課題を解消する方法の1つとして、複数指導者体制の相乗効果を学習者に可視化することが考えられる。杉山(2014)は、学習者の感想と指導者の助言を文章で可視化した“評価的やりとり”の研究を実施し、自主学习における学習者の意欲と練習量の増加が確認された。文章で可視化することは、学習者や指導者のやりとりの履歴を客観視できることと、学習者と指導者の意思疎通の機会となった。長松ら(2014)は、教育あるいは学習の場面における「教師—学習者」の関係において、指導者は学習者の習熟度に基づいて適切な教示方法を与える能

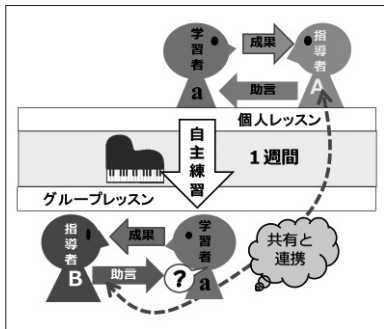


図1 複数の指導者による指導の概念図

1) 短期大学部幼児教育学科 2) 短期大学部非常勤講師

力を有することが求められると述べている。その手がかりとして、文字化した指導や評価は有効な手段と考えられる。

こうした研究の上に立って、本報告では“評価的やりとり”を、学習者と2名の指導者で実施し、学習者が“評価的やりとり”をどのように受け止めているかを調査し、利点と課題を明らかにすることを第1の目的とした。そのために、“指導の文章化”に焦点を当て、学習者の意見の調査から、“指導の文章化”が従来の指導に加わることで、ピアノ学習への効果と学習姿勢の積極性を明らかにする。その中で、学習者のピアノ経験の違いによる差を見る試みを、第2の目的とした。

II. 方 法

1. 対象者

対象者はC短期大学保育者養成課程2年生105名と、その指導を担当しているピアノ指導者11名である。グループレッスンでは、学習者は技能別に、ピアノ初学者(36名)、中経験者(34名)、経験者(35名)の3つに分けられている。指導者の授業担当は、個人レッスンが7名、グループレッスンが3名、総括が1名である。学習者は両方のレッスン形態による2名の指導者の指導を受けている。“評価的やりとり”は指導者2名と学習者1名が対象となる。

2. 期 間

2016年4月5日から7月28日の毎週火曜の授業内で11回実施した。

3. 手続き

| 日程 | 練習の成果として何がありましたか？ | 今週の練習量・書状はどうでしたか？ | 自己評価 |
|-----------|-------------------|-------------------|------|
| 1 4/6 | | | /10点 |
| コメント-印 | | | |
| 2 4/12 | | | /10点 |
| コメント-印 | | | |

図2 練習記録表(一部)

学習者と指導者の感想と助言の記録である“評価的やりとり”を、毎週『レッスン記録表』(図2)に学習者が記入した。記録表には、その日のレッスンを受けた感想と、一週間の自己評価の欄が設定されている。指導者は、学習者のレッスンでの様子や、記入された記録に対し、助言を記入した。

11回の指導終了後に、この“評価的やりとり”に関する質問紙調査を、学習者に実施した。調査内容は、以下の10項目とした。回答は質問1から質問8までは「はい」、「いいえ」、「どちらでもない」という3件法の回答に加え、自由記述とした。質問9及び10は自由記述のみとした。

質問1. 週一度、練習の成果について積極的に書き込んだか

質問2. 書くことで、あなたの気持ちを先生に十分伝える機会になったか

質問3. 書くことで、自分の練習や態度について振り返る機会になったか

質問4. 助言は読みましたか

質問5. 助言は、頑張ろうというやる気に有効だったか

質問6. 助言は、練習方法や修正箇所など、ピアノ技術に有効だったか

質問7. 練習をしているとき、先生の助言や励ましが思い浮かぶことはあったか

質問8. ピアノの練習をこれからも続けるために、先生からの書かれた助言があることは有効だと思うか

質問9. 2名の先生(個人と集団)からダブルで助言があったことは、どう思うか自由記述のみ

質問10. “評価的やりとり”のメリット・デメリット

質問1から3までと9は学習者自身の様子、質問4からは指導者に対する評価、質問8・10は双方の関係性が成立しているかどうかを評価するものとした。

III. 結果と考察

質問紙調査の回答は、105名の学習者のうち90名から得られ、回収率は85.7%であった。以下に、質問毎の結果と考察を述べる。

1. 学習への積極性について(質問1)

学習者の書き込みへの積極性を見た。表1をみると、約半数の学習者は『レッスン記録表』に積極的に書き込んでいると答えているが、あとの半数は積極的に答えていないことが分かった。自由記述の内容を見ると、「ピアノをしっかりと練習している」と自覚している学習者は積極的に取り組んでいると答えているが、「あまり練習していない」と自覚している学習者は「消極的である」と答えている。この結果から、書き込みへの積極性は、学習者自身の練習量に対応していると言える。また、「積極的」と答えた者の自由記述によると、「自分のことを書いて、先生のコメントが参考になりました」や、「先生からどんなコメントがどのようにしてくるか楽しかったから」、「先生がたくさん書いてくれて、嬉しかったから。お返しの気持ちでたくさん書いた」など、指導者からの返答を意識している様子が見られた。学習者は、レッスン以外の場面でも指導者の助言を求めていることがわかる。一方の「普通」との回答には、「時間がない時は、書く量が少なかったです」など、書く時間の確保に課題があることが分かった。また、書く内容についても、「書くことが毎回同じになる」や、「内容が薄かった」など、気持ちを文字にすることの難しさもうかがわれた。ここでは、二人の指導者を分けて答えている様子はいかががわれなかった。

表1 練習成果の書き込みについて

| | 積極的 | 普通 | 消極的 | 無回答 |
|-------|-------|-------|------|------|
| 数(人) | 45 | 40 | 4 | 1 |
| 割合(%) | 50.00 | 44.44 | 4.44 | 1.11 |

2. 自己アピールの文字化(質問2)

「書くことで、あなたの気持ちを先生に十分伝える機会になったか」の質問に対する回答から、学習者の自己アピールが促進されたかを検討した。この質問に、53.3%の学習者が伝えられたと回答している(表2)。この結果から、指導者に自分の気持ちを伝えることができたという満足度が高かったことがうかがわれる。自由記述には、「普段あまり話せない自分の思いや気持ち、伝えたいこと、直接言えないこと」といった回答が半数近くあり、次に「どれくらい練習したか」、「どんな練習をしたか」、「指導を受けてどう思ったか」、といった練習の成果などに関する内容が多く挙げられていた。さらに、「教えてもらってできるようになったことやできてうれしかったこと」、「もう少しでできるようになること」など学習への積極性もアピールしている回答もあった。以上の結果から、レッスン時間中には伝えきれなかったことを伝えるためのコミュニケーションの続きとして「レッスン記録表」が活用されていることが示唆される。一方、伝えられなかったと回答した学習者の理由として、「話をするほうが多かった」、「真剣に書けなかった」、「文章を書くのが苦手だから」という回答もみられた。学習者のコミュニケーション方法の得意不得意が反映されていると言える。

表2 先生に気持ちを伝えられたか

| | 伝えられた | どちらとも言えない | 伝えられなかった | 無回答 |
|-------|-------|-----------|----------|-----|
| 数(人) | 48 | 42 | 0 | 0 |
| 割合(%) | 53.3 | 46.7 | 0.0 | 0.0 |

3. 自分のことを振り返る力について(質問3)

表3に、質問3の回答状況を示し、資料1に自由記述を揚げた。「自分を振り返る力になった」の回答が7割を超え、「ならなかった」という回答は2名であり、このことから書面でやりとりが、学習者にとって自分の練習成果を振り返る機会となっていることがわかる。質問2での、自分の気持ちを指導者に伝えるという目的で書き込む行為が、自分のことを振り返ることにとも関与していると考えられる。学習者の自由記述では、「書くことで練習への意識が高まった」、「練習への取り組み方に前向きな気持ちが芽生えた」、「練習内容の具体的な振り返りが出来た」等、書面で可視化することで学習者自身の練習に対する意識、意欲の高まりに寄与していると思えるものがあった。また、少数ではあるが、「指導者毎にニュアンスが違う」等の意見もあった。この点については、指導者が2名存在することが学習者の負荷になることの課題と捉えられる。学習者の戸惑いに対し、指導者は学習者への理解だけでなく、指導者同士の理解も深める必要性のあることが分かった。

表3 自分を振り返る機会になったか

| | なった | どちらとも言えない | ならなかった | 無回答 |
|-------|------|-----------|--------|-----|
| 数(人) | 66 | 22 | 2 | 0 |
| 割合(%) | 73.3 | 24.4 | 2.2 | 0.0 |

4. 指導者との意思疎通への効果(質問4)

98.9%の学習者が指導者からの助言を読んでいた(表4)。質問1,2,3に見られた学習者自身の書き込みの状況にかかわらず、その返答に目を通してることがわかる。自由記述から(資料2)、練習の困難さや意欲の変化を感じる時にも、指導者の助言を読むことで多くの学習者が励まされ、次に向かって頑張ろうという意欲向上が読み取れた。自由記述には、「うれしかった」「楽しみ」というやり取りを楽しむ様子も伺われた。また、「毎回書いてくださる」「毎回しっかり読んだ」など、指導者からの助言を真摯に受け止めている学習者もみられた。「評価的やりとり」によって、指導者と学習者とのコミュニケーション促進の効果が示唆された。

表4 指導者からの助言は読んだか

| | 読んだ | まあまあ読んだ | 読まなかった | 無回答 |
|-------|------|---------|--------|-----|
| 数(人) | 89 | 0 | 0 | 0 |
| 割合(%) | 98.9 | 1.1 | 0.0 | 0.0 |

5. 意欲的な学習への効果(質問5)

「助言は学習意欲に有効だったか」の問いに対する回答を表5に示す。「有効だった」が90%近くを占め、「無効だった」が1.1%(1名)であった。自由記述(資料3)では、「ちゃんと褒めてもらえた」、「応援されている」「期待されている」など、指導者から認められることが、意欲の理由に挙げられていた。豊田(2006)は大学生の自尊感情について、努力への成果が何らかの形で認められることを意識することで、さらに意欲に変化がみられることを実験によって検証した。ピアノレッスン時にその成果が発揮できなかった場合も、自分の努力を書き込み、指導者が肯定的に伝えてくれることで、自己効力感を高めている。中には「厳しい言葉をもらうことがあり、やらなくてはいけないという思いになった」や、「先生の思いを知り、がんばらなきゃと励みになった」などもあり、文字になった指導者の思いを汲んだ記述もあった。「アドバイスが次からの練習に生かされた」「どうしたらよいか分からない時に何をしたらよいか分かった」「できていないところを思い出せた」など、技術的支援の助言によって意欲に効果がみられた。また、「先生にしっかり見てもらえていることが伝わった」という回答がみられるにもかかわらず、質問1や質問2の学習の積極性に反映されていない点について、指導者の助言の内容について分析や検討が必要であろう。

表5 助言はやる気に有効だったか

| | 有効だった | 少し有効 | 無効だった | 無回答 |
|-------|-------|------|-------|-----|
| 数(人) | 80 | 9 | 1 | 0 |
| 割合(%) | 88.9 | 10.0 | 1.1 | 0.0 |

6. 技術の習得への効果 (質問6)

表6は、学習者のピアノ技能面での有効性について尋ねた質問に対する回答の結果である。「有効だった」との回答が80%近くあったことから、文章化した助言は、技術面に有効的だと学習者が捉えていたことが示された。ピアノ技能の集団指導では、個人の課題には対応しきれない。そこで、集団指導を補うための学習者個別の対応が必要である。書面での対応は、個人に合わせた助言ができる理由で、技術習得に有効であったと言える。

学習者はピアノの初心者から経験者まで幅広いことから、経験による助言の捉え方の違いを検討した(図3)。経験別の3つのグループに差は見られなかったが、「無効であった」の1名の回答は、経験者グループにあった。自由記述(資料4)にある「そんなに有効ではありませんでした」の回答も、経験者グループの学習者であることから、経験者にとって、技術指導は文章化しなくても口頭での助言で十分であるのかもしれないことが伺われた。その点を、今後“評価的やりとり”の内容の分析で明らかにしていく必要があると考える。

また、「先生との間で違うアドバイスを言われ困ってしまう」との回答があった。これは質問2でも明らかになった課題であった。技能習得という目的は同じであっても、手法は指導者によって違いがある。この違いは、学習者にとって道は2本あるという判断に至らない配慮が重要であることが分かった。

表6 助言はピアノ技術に有効だったか

| | 有効だった | 少し有効 | 無効だった | 無回答 |
|-------|-------|------|-------|-----|
| 数(人) | 71 | 18 | 1 | 0 |
| 割合(%) | 78.9 | 20.0 | 1.1 | 0.0 |

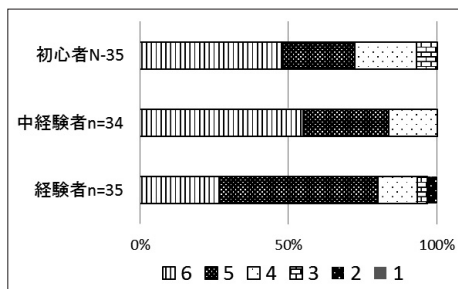


図3 “評価的やりとり”の技能への有効性について経験別解答割合

7. 練習中の意欲継続への影響について(質問7)

練習中に、文章で読んだ指導者の助言が有効であったかどうかを尋ねた結果を表7に示した。60%の学習者が有効であったと回答した。しかし、約40%の学習者が「どちらとも言えない」、「浮かばなかった」と回答しており、他の質問と比べ低い評価となっている。自由記述(資料5)では少数意見ではあるが、「書いてあることを覚えていなかった」との回答もあり、指導者との関係が希薄な学習者も見受けられた。その学習者には指導者からの一方通行になっているかもしれない。指導者の課題として、学習者の心に響く助言を発信しながら関係を築

いていくことの重要性が挙げられる。また、「弾くことに必死になりすぎる。目の前の事だけに集中してしまう」の記述も見られ、初心者にありがちな、目の前の課題に向かう事に必死で、指導者の助言が思い浮かぶ余裕がない様子も見られた。学習者の視野を広げることは、複数の指導者の多様な視点が生かせると考えられる。

表7 練習中に指導者の励ましが浮かぶことがあったか

| | 浮かんだ | どちらとも言えない | 浮かばなかった | 無回答 |
|-------|------|-----------|---------|-----|
| 数(人) | 54 | 30 | 5 | 1 |
| 割合(%) | 60.0 | 33.3 | 5.6 | 1.1 |

8. 文章化されたやり取りの必要性について(質問8)

「ピアノの練習をこれからも続けるために、先生からの書かれた助言があることは有効だと思うか」に対して得られた回答を表8に示す。この質問は、今後この指導法が学習者にとって必要かどうかを問うためのものだが、その回答は「有効だと思う」が84.4%となり、有効性の高さが示された。学習者は、自身の書き込みの積極性に関係なく指導者の助言を必要と感じ、期待していることが示された。

自由記述で多く見られたのは「指導者の助言は励みになり頑張ろうと思える」、「助言を読み返すことができ練習に生かせる」であった(資料6)。指導者のアドバイスが自発的な自主練習の継続に寄与している様子が伺われた。一方、「二人の先生の違った助言に戸惑った」という意見があった。質問6にも同様の回答があったように、今回の調査によって、指導者側の課題が明らかになった。一人ひとりの指導者に対しては、意思疎通や信頼関係が構築されているとしても、2名双方の助言を学習に生かそうとした場合の矛盾を感じていることは問題であろう。ただし、これはどちらのアドバイスもしっかりやろうと思う故に発生する意見とも考えられる。また、質問1の書き込みの消極性の理由に、「練習をしなかったから」があったことにも関連し、両者の助言を柔軟に受け入れる姿勢や視野を広げる材料とする学習を推進する必要があることが分かった。

表8 指導者からの助言は、これからの練習に有効だと思うか

| | 有効だった | どちらとも言えない | 無効だった | 無回答 |
|-------|-------|-----------|-------|-----|
| 数(人) | 76 | 11 | 1 | 2 |
| 割合(%) | 84.4 | 12.2 | 1.1 | 2.3 |

9. 2名の先生から助言があったことをどう思うか (質問9)

ここでは、2名の指導者による“評価的やりとり”について、自由記述で回答を得た(資料7)。全体的には肯定的な自由記述が多く見受けられた。

技術面では、「たくさんのポイントを教わることが出来て良い」「違う視点でアドバイスをもらえて、すごく勉強になった。そのことで、よりピアノの技術が上がったなと思った」「ダブルであったので、直したらよいことなどをより多く知ることができたので良かったです」「違う人から意見をもらえることで、そのような考え方

があるのだと思い、なるほどと思い、練習の良い刺激になった」など、複数の指導者だからこそ、質、量ともに充実した助言を活用できている様子がかがえる。意欲面では、「2名の先生に教えてもらったことで頑張ろうと思えた」「毎週2人の先生から良かった所などのコメントがあって、頑張ろうと思えるところがあった」「2人の先生に同じ所を指摘されたら、ここは私の苦手なところなのだとなと気づくことができ、とても勉強になりました」「同じことを言われたら、直っていないということなので、重点的に練習」など、複数の指導者からの評価を自己を高めることに繋げ、また励ましに込めようとする姿がかがえる。

10. “評価的やりとり”のメリット・デメリットについて(質問10)

この質問は、評価ではなく様々な意見を聞くために、メリット・デメリットと分けて自由記述で回答を得た(資料8)。メリットと回答した中で一番多かったのが「文字として残っているの、後から読み返して再確認出来る。」というもので、文字化されていることによるメリットが挙げられた。デメリットについては、「無い」と明言している学習者が多かったが、「先週聞いておけば、すぐに自宅練習で気を付けられた」、「既に該当する曲は合格した」など、一週間後に読むことがあった。このデメリットに関しては、早い時期の指導者の助言が求められており、質問6,7での、練習中の助言の活用で挙げた課題と共通している。自主練習中、学習者が必要とする時に助言が手に入ることも支援の重要な要素と考える。また、少数ではあるが、「言葉(文書)では具体的に指導者に伝わらなかった。」や「弾いているときに助言された方がすぐに弾き直したり改善することができるので、私は口での助言に力を入れたほうが良いと思いました」という直接指導を優位とする意見も見られた。山田ら(2009)の「自己調整学習ができる学習者は、他人に頼らず自分で目標を立て、それに到達する学習行動を計画し、自分の学習状況をモニタリングしつつ行動をコントロールしているとされる」とあるように、レッスン中の助言で十分に自分の学習目標を立てられる学習者にとっては、あえて文章化した助言は必要性が低いかもしれない。

表9 “評価的やりとり”についての解答の分類(%)

| | メリットのみの記述 | デメリットのみの記述 | デメリットのみ | どちらでもない |
|----|-----------|------------|---------|---------|
| 割合 | 62.0% | 32.0% | 4.0% | 2.0% |

IV. まとめと今後の課題

1. 2名の指導者と学習者との“評価的やりとり”の有効性について

本調査の回答から、学習者は指導者の助言を読み、自主練習に生かしていることが分かった。助言を“文章化”することは、学習者にとって、指導者とのコミュニ

ケーションが可視化され、何度でも読み返すことができることから、自主学习での技術面や学習意欲面に役立つものと位置付けることができた。実際のレッスンでは、学習者は緊張しており、指導者とのやり取りを十分に機能させることができるとは必ずしも言えない。そこで「普段あまり話せないことを文字で伝えることができた」という回答が複数あったことは、“評価的やりとり”によって指導者と学習者の積極的な関係作りが促進されたと推測できる。反面、技術的な指導については、文面のやり取りでは理解が難しいとしている学習者の意見も見られたが、感想と助言のやり取りを書面で記録し、可視化することは、学習者の意識を十分に高めていると言える。また、この取り組みで、学習者自身を振り返る力が備わってきたことが、授業内の練習の質の向上に寄与していると考えられる。

2. 複数の指導者による指導の効果と課題について

2名の指導者に助言をもらうことは、学習者が納得できる助言の場合、2名分の応援を感じていることが分かった。しかし、2名の助言の内容が一致していないと感じる場合、戸惑いの回答が見られた。この意見については、質問3, 質問6, 質問8にも見られた。学習者の様子を観察した情報を複数の指導者で共有することが“評価的やりとり”の課題である。技能習得という目的は同じであっても、手法の違いを、学習者にとって道は2本あるという判断に至らない配慮が重要であることが分かった。指導の手法をある程度共有する必要がある。また、学習者側にとっても、指導者の両方の助言をどのように受け止めればよいかの、相談ができる機会の設定も必要と考えられる。今後、指導者側の意識の変化にも焦点を当てて、指導法の共有する方法の検討は重要である。指導者側の意見も調査し、これらの課題の解決を検討する。

V. 文献

- 鈴木由美子(2015)「初等教育課程教員及び保育士養成校におけるピアノ実技指導に関する一考察」『千葉敬愛短期大学紀要』第37号, p.74.
- 杉山祐子(2014)「ピアノ学習者の自律的学習を進めるための“評価的やりとり”の試み」全国大学音楽教育学会紀要 第25号, p.11-20.
- 長松正康, 白坂高司, 川田正男, 山本透, 山根八洲男(2014)「制御工学的アプローチに基づく教師—学習者間モデルに関する考察」電気学会論文誌C Vol. 134, No.10, pp.1537-1538.
- 豊田弘司(2006)「大学生の自尊感情と自己効力感に及ぼす随伴・非随伴経験の効果」奈良教育大学教育実践総合センター研究紀要15, 7.
- 山田恭子, 堀匡, 國田祥子, 中條和光「大学生の学習方略使用と達成動機、自己効力感の関係」広島大学心理学研究 第9号, p.37.

資料 1

| 質問3. 自由記述 | |
|-----------|---|
| No. | 内容 |
| 1 | どうすればうまくいくのか参考になった |
| 2 | 練習を振り返ることができた |
| 3 | 前の週のことも思い出せました |
| 4 | 書くことで練習しないといけない意識をもちました |
| 5 | 毎回しっかり書いていただき、ありがとうございます |
| 6 | やる気が出ました |
| 7 | 修正するところはどこなのか把握できる |
| 8 | 自分を振り返ることができた |
| 9 | 反省することができた |
| 10 | 自分と向き合うことができた |
| 11 | もっと豊感面白いといけななと思った |
| 12 | 振り返ることができた |
| 13 | 授業の終わりに振り返ることができた |
| 14 | あまり練習していない時は特に、がんばらなければ!と思えました |
| 15 | 頑張ろうと思えた |
| 16 | 次からどう取り組めばいいか考えることができました |
| 17 | あの時は練習が足らなかつたなど、反省ができた |
| 18 | 練習が出来なかつた週は、次に頑張ろうと思えた |
| 19 | 自分の姿を振り返ることができました |
| 20 | 振り返る機会になった |
| 21 | 自分がその時間に何をしていたのかを、具体的に振り返ることができました |
| 22 | 1週間に1度、「今週はこうだったから来週は頑張ろう」など、振り返ることができました |
| 23 | 自分の練習時間など、見直せました |
| 24 | 書くこと、実際どのくらいやっていたかが分かるので、次はどうしようと考えられた。 |
| 25 | アドバイスをみて、練習につなげられました |
| 26 | 自分にはどのような練習が足りないのか、分かる機会となった |
| 27 | 何ができていないのか、書くことで何度も見た |
| 28 | 練習不足だなあと、振り返りで感じた |
| 29 | どこを直していくべきか、考えることができたから |
| 30 | 今回は練習少なかったなとかが分かった |
| 31 | 少ない時はもっと頑張ろうと思えた |
| 32 | 練習量がよくわかった |
| 33 | 練習した時は書き、見直すことができました |
| 34 | 1年生の時はあまり練習しなかつたけれど、書くことで自分がどれだけ練習したか振り返ることができた |
| 35 | 練習量の少なさが分かった |
| 36 | 書くことで、練習の少なさが分かった |
| 37 | 練習量の少なさを実感することができた |
| 38 | とつともなりました |
| 39 | 1週間、どのくらい練習したかを考えるようになった |
| 40 | 1週間の自分を振り返る良い機会でした |
| 41 | どれくらい演習してどんな演奏だったかを十分に振り返ることができた |
| 42 | 全然練習していなかつたな、など自分自身良く振り返れました |
| 43 | 実際振り返ってみて、全然できていなかつたときはしっかり練習しようと思った |
| 44 | 練習が十分できなかつたときに、反省をすることで、次頑張ろうと思えるようになった |
| 45 | 練習していない時の反省になる |
| 46 | 普通に反省ができて良かったと思う |
| 47 | 時間が足りていないことや、態度について振り返れた |
| 48 | 書く機会があれば振り返れた |
| 49 | あまり振り返らなかつた |
| 50 | すごくなりました 課題も多く見つかりました。 |
| 51 | しっかり自分を考えることができた |
| 52 | 礼集はこうしようと、目標を決めることができました |
| 53 | もっと頑張ろうと思えるようになりました |
| 54 | 書けていなかつたので、だめだなと思えました |

資料 2

| 質問 4. 自由記述 | |
|------------|---|
| No. | 内容 |
| 1 | アドバイスをみながらどうすればよいか分かった |
| 2 | アドバイスをそこでもらえたのでよかった |
| 3 | 先生の助言を励みに頑張りました |
| 4 | 毎回しっかり書いていただき、ありがとうございます |
| 5 | いいアドバイスをもらいました |
| 6 | 先生の助言をもらって、次どうするかかんがえることができた |
| 7 | 毎回、帰ってきたときに読んでいた |
| 8 | アドバイスがたくさん書かれていたので、とてもタメになりました |
| 9 | 毎回しっかり読んでいます |
| 10 | いつも細かく書いてくれるので、うれしかった |
| 11 | 毎回読んで、的確なアドバイスをいただけて、うれしかった |
| 12 | 毎回のやり取りがとてものしかったです |
| 13 | 先生の言葉をいただいて、思えた |
| 14 | いつも丁寧に所見を書いてくださって、うれしかったです |
| 15 | しっかり書いてくださったので、ありがたいと思った |
| 16 | 1週ずつしっかり読んで取り組めた。その言葉を大切に練習で来た |
| 17 | 自分への励みになりました |
| 18 | 先生からの助言はうれしいからやる気につながった |
| 19 | ピアノの授業はいつも楽しみだったので、コメントを読むのも楽しみだった |
| 20 | アドバイスは励みになりました |
| 21 | 練習につなげることができました |
| 22 | アドバイスやできていたという所をしっかりと読めた |
| 23 | 読んで、自分の練習法の改善になったので、しっかり読みました |
| 24 | 助言には、私に足りないことや、どのような取り組みをしたらよいか書かれていて、分かり易かった |
| 25 | とてもいいアドバイスをもらいました |
| 26 | 細かく書いてくださっているの、しっかり読んだ |
| 27 | 毎回、返ってきたら読んでいました |
| 28 | 毎回たくさん書いてもらえたのでうれしかった |
| 29 | 励ましの言葉がうれしかった |
| 30 | 助言を読んで頑張ろうと思えた。 |
| 31 | 自分のためになることがたくさん書いてあり、よかった |
| 32 | どこをたくさん練習するといったのが分かり、その練習を頑張った |
| 33 | ちゃんと助言を読んで、頑張ろうと思えた |
| 34 | 頑張ろうと思えた |
| 35 | ためになりました |
| 36 | どんなコメントが返ってきたか毎回読んだ |
| 37 | 励みになります |
| 38 | 毎回、短い私の文章にも助言をしてくださっていてうれしかったです |
| 39 | 読んで、どこをどう直すといいとか、知ることができました |
| 40 | が書かれていて、うれしかったです |
| 41 | 先生からの助言を読んで、気を付けることなど再確認することができた |
| 42 | 読んで次に生かそうとした |
| 43 | 読んで練習に生かした |
| 44 | 毎日何回も読み、次の糧に出来た |
| 45 | どうしたら弾けるかのアドバイスがあったから |
| 46 | しっかり読んだ |
| 47 | いつも細かいところまで見て、助言をくださり、ありがとうございます |
| 48 | たくさん書いてもらえたから |
| 49 | 自分が書く前に読みました |
| 50 | 自分では気づかないことが書いてあったりして、練習を頑張ろうと思えました |
| 51 | アドバイスはとてもうれしく、しっかり読みました |

資料3

| No. | 質問5. 自由記述 内容 |
|-----|---|
| 1 | 厳しい言葉をもらうこともあり、やらなくてはいけないという思いになった |
| 2 | やる気は出ました |
| 3 | とても頑張ろう、先生にしっかり見てもらえていることが伝わった |
| 4 | アドバイスなど、やる気につながりました |
| 5 | がんばろうと思いました |
| 6 | やる気になれた |
| 7 | 頑張ろうと思えた 教えてもらっているのだから |
| 8 | たくさん褒めて下さるので、頑張ろうと思いました |
| 9 | 励ましの言葉で、頑張ろうと思えた |
| 10 | とってもなりました |
| 11 | 毎回の意欲に繋がった |
| 12 | アドバイスをしてもらい、次からの練習に生かしました |
| 13 | 前向きになれたから |
| 14 | 自分の良いところ、課題を知ることにつながりました |
| 15 | 次は、先生からのアドバイスを見て、頑張ろうと思えた |
| 16 | やる気が出て、言葉を大切にしました |
| 17 | とてもうれしかった |
| 18 | 先生からの助言はとても有効だった |
| 19 | 出来た所はちゃんとほめてもらえるのがうれしくて、頑張ろうと思えた |
| 20 | 先生が認めてくれたりすると嬉しかったです |
| 21 | 頑張ろうと思う気持ちになりました |
| 22 | 次はできるようにしようと心に入れることができた |
| 23 | 「次までに楽しみにしていますね」などの言葉で、とてもやるきになりました |
| 24 | どうしたらよいか分からない時に助言を見れば何をしたらよいか分かって、やる気につながった |
| 25 | とても頑張ろうと思いました。 |
| 26 | 少しでも褒めてもらった部分があると自信が持てた |
| 27 | 頑張ろうと思えました |
| 28 | 褒めてもらえる頑張ろうと思えた |
| 29 | 出来ていないところを思い出せたので、意識しようと思えた |
| 30 | 有効だった |
| 31 | 頑張ろうと思えた |
| 32 | その場所をたくさん練習して、弾けるようにした |
| 33 | 有効だった |
| 34 | プラスのコメントばかりで、やる気が出た |
| 35 | 有効だった |
| 36 | 応援されている感じで、頑張ろうと思えました |
| 37 | 先生の思いを知り、がんばらなきゃと励みになった |
| 38 | やる気になります |
| 39 | バイエルが終わった時には、特に、次に頑張ろうと思えました |
| 40 | やる気になりました |
| 41 | 有効だった |
| 42 | 自分の反省した点についてコメントをもらうことができ、さらにやる気になりました |
| 43 | 読んで反省し、次に生かそうとした |
| 44 | 先生によってはあった |
| 45 | 頑張ると思い、家でも頑張ろうと思えました。 |
| 46 | 少しは頑張ろうと思った |
| 47 | なった |
| 48 | いつも励ましのコメントがあり、やる気になりました |
| 49 | 嬉しい事が書いてあったから |
| 50 | 自分で納得することが多かったのだから、やる気になりました |
| 51 | 助言を基に、練習する時に、気を付けたりできました |
| 52 | ちゃんと見てもらえているという気になったのだから、頑張ろうと思えました |

資料4

| No. | 質問6. 自由記述 内容 |
|-----|-------------------------------------|
| 1 | 指づかいが参考になった |
| 2 | 残るものなので、読み返して思い出せたので良かった |
| 3 | とても分かりやすく丁寧だったので良かった |
| 4 | 意識するポイントを缶和えながら弾きました |
| 5 | いい練習方法を学ぶことができました |
| 6 | わかりやすく教えてくれる |
| 7 | とても参考になった |
| 8 | (口頭)で教えてもらっていた |
| 9 | とても活かすことができました |
| 10 | 今何が必要か分かった |
| 11 | なるほど、と思えた でも実際やってみると難しい |
| 12 | 私のミスなどを指導してくれて、勉強になった |
| 13 | 丁寧に書いてくださったため、どこを直せばいいか、分かりました |
| 14 | 直接教えて下さったことや、書かれた助言でがんばれたから |
| 15 | わかりやすく練習法を教えてくださいました |
| 16 | 助言を見て、次に生かすことができました |
| 17 | 先生方はとても言っていることが自分が思っているのと同じだった |
| 18 | 丁寧に指導していただきました |
| 19 | 先生からの助言はとても有効だった |
| 20 | 弾きにくい指番号だった時、弾きやすいような指を教えてくださいました |
| 21 | 練習する時、思い出して意識できました |
| 22 | 修正するところの確認ができました |
| 23 | そんなに有効ではありませんでした |
| 24 | アドバイスをもらうことで頑張ろうと思えたり、弾けるようになったため |
| 25 | 書かれたものだけではなく、レッスン中に言われたことも有効につなげました |
| 26 | 私の今の状態がどのようであるのか知ることができました |
| 27 | 方法が分かって良かったです。 |
| 28 | 先生の助言を見て学び、少しうまく弾けるようになったため |
| 29 | どこを良くしていくとよいか分かった |
| 30 | きちんと練習し、直そうと思った |
| 31 | スタカートでの弾き分けが一番よく分かった |
| 32 | 有効だった |
| 33 | 歌いながら弾くことができるようになった、少しだけ |
| 34 | その場所がスムーズに弾けるようになった |
| 35 | 家で練習しているときに、やる気になれた |
| 36 | その日の練習に対しての助言があり、参考になった |
| 37 | できました |
| 38 | 「ここを気を付けたほうが良いんだ」とよく分かった |
| 39 | とても役立ちました |
| 40 | 指の位置などをもう一度見て、振り返ることができました |
| 41 | 毎回、言われたことを思い出して練習に生かすことができました |
| 42 | こう練習したらよいとアドバイスをもらい、しっかり練習できた |
| 43 | 自分の気づかなかった練習方法を知ることができた |
| 44 | 指使いやどうすると良いか、アドバイスをもらって、生かそうとした |
| 45 | 有効だったと思います |
| 46 | 分かり易かったけど、直接の方が分かり易かった |
| 47 | 練習方法は有効でした |
| 48 | 先生との間で違うアドバイスを言われ困ってしまう |
| 49 | ここはこうするといつと、助言が明確で分かりやすかった |
| 50 | 自分が気づかないことがあったから |
| 51 | 指の動きとかできなくて、困っていたところができるようになりました |
| 52 | 苦手な部分のアドバイスが書かれていたので、有効だと思いました |

資料5

| No. | 質問7. 自由記述 内容 |
|-----|--|
| 1 | 目の前のことだけに集中するところがあった |
| 2 | ああ言われたなと思いながら練習できました |
| 3 | 指番号や弾きやすい弾き方を一緒に漫画得てくれたので思い浮かべて練習した |
| 4 | レッスンの時のことを思い出して練習できました |
| 5 | 励みになりました |
| 6 | 教えてもらったことを気にしていた |
| 7 | 指使いをよく言われるので、常に頭にありました |
| 8 | 時たま、あったかもしれない |
| 9 | 浮かんだ。うまくできない時は、申し訳ない気持ちになる |
| 10 | アドバイスがうれしかった |
| 11 | アドバイスを意識して練習しました |
| 12 | 思い出しながら、気をつけて弾こうとする意欲が持てた |
| 13 | たまに、引くことに必死になり過ぎることもありました |
| 14 | 先生から言われたことを思い出して、練習できた |
| 15 | 先生のアドバイスを意識して練習に取り組みました |
| 16 | 怒られたときのことを思い出して、がんばった |
| 17 | 出来なくてつまづいている時、言ってもらえたことを思い出して弾くことができた |
| 18 | 印象に残っていたので、思い浮かびました |
| 19 | リズムの取り方など、意識してできました |
| 20 | たまにありました |
| 21 | くじけそうになった時に思い浮かび、心強かった |
| 22 | 「ここは言われたところだから気を付けよう」と思えました |
| 23 | 部分練習をするよといと助言されたので、苦手なところを意識して練習しました。 |
| 24 | 読んで、もっと頑張ろうと思いました |
| 25 | こままいことが書かれていたから、練習中意識できた |
| 26 | 直すところは意識していました |
| 27 | ここはこの前教えてもらったな、と思うところがあった |
| 28 | ミスをする時に思い出して、気を付けようと思った |
| 29 | 助言を聞いて守勢しようと思えた。 |
| 30 | あまりなかった |
| 31 | どうやって練習するとよいかを思い出して練習した |
| 32 | 家で練習しているときに、やる気になれた |
| 33 | とつてもありました |
| 34 | 弾けなくても「頑張れ」と言ってくださり、力になった |
| 35 | 頑張れました |
| 36 | 浮かぶ時もあったし、先生から言ってもらえる時もありました |
| 37 | 「できないできない」と落ち込むこともあったけど、先生の前向きな言葉で頑張れました |
| 38 | 指の位置など、ああ！こうだった！と思えることがあった |
| 39 | 気を付けるところを思い浮かべることができた |
| 40 | 指使いのことを思い出しながら練習した |
| 41 | 時々あったので良かった |
| 42 | 弾いていて、教えてもらった場所が出てくると、そのたびに思い出せ、助かっています。 |
| 43 | 書いてあることを覚えていなかった |
| 44 | いつもミスするところを弾くときに「そういえば先生にこう言われたな」と思い出すことがあった |
| 45 | 出来ないなって思った時に、頑張らなくちゃと思えた |
| 46 | 練習を始める前に、思い浮かびました。 |
| 47 | 自分が下手な部分の所でよく、先生のアドバイスが出てきました |

資料6

| No. | 質問8. 自由記述 内容 |
|-----|---|
| 1 | あったほうがやる気になる |
| 2 | 交流できるのでいいと思います |
| 3 | 書いてあると頑張れます |
| 4 | 二人の先生の違った助言に戸惑った |
| 5 | 練習につなげていきたいです |
| 6 | 思います |
| 7 | とても必要だと思います |
| 8 | 参考になるし、どうしなければいけないのか考えることができる |
| 9 | 頑張ることができる |
| 10 | それをバネに頑張れるからです |
| 11 | 有効だと思う |
| 12 | やる気につながる |
| 13 | 続けたいです！ |
| 14 | より上手になるために、続けてほしいです |
| 15 | とてもそうおもいます |
| 16 | やる気につながると思いました |
| 17 | 助言があることで次につなげていくことができる |
| 18 | 先生がどこを見ていっているのかが分かるから |
| 19 | 助言があることによってやる気につながるのと、とても有効 |
| 20 | 励ましは、練習の励みになると思います |
| 21 | 良いところが書いてあるとうれしいので、有効だと思います |
| 22 | 書かれるより口で言ってもらいたいです |
| 23 | しっかり助言を見て、私の気づかない所を書いてくださるから |
| 24 | 有効だと思います。ただ、受け取る方が必要とする場合、有効だと感じる場合のみですが。 |
| 25 | 助言によって気づくことがたくさんありました |
| 26 | アドバイスをもとに、もっと頑張りたいです |
| 27 | 助言があると、やる気や意欲が湧くため |
| 28 | 自分で気づかない所も書かれていると知れる |
| 29 | 何がいけなかったのかわかる |
| 30 | コメントがあることで、見てもらっていることが伝わるので、頑張ろうと思える |
| 31 | 有効だと思う |
| 32 | とても思う |
| 33 | どうやって練習するとよいかを思い出すことができるから |
| 34 | 学生の気持ちが違うと思う |
| 35 | はげましになる |
| 36 | 思います。助言のおかげで頑張れました |
| 37 | しっかりとアドバイスなので、受け止めて活かしていきたい |
| 38 | あると良いと思う |
| 39 | 全く言えないこととかも、先生に伝えることができたから |
| 40 | 本当にやる気になるので、有効だと思います |
| 41 | ないよりあったほうが良いと思います |
| 42 | 時間があるときはピアノをやろうという気になれた |
| 43 | 練習するにあたっての励みになると思う |
| 44 | とても大切だと思う |
| 45 | やる気になることもあるので、必要だと思います |
| 46 | いろいろなアドバイスがあった |
| 47 | とても有効だと思います |
| 48 | はげみになる |
| 49 | あったほうが練習の時に上達できると思います |
| 50 | 書いてあるのと無いのでは、やる気が出るのが違うので、助言があるといいなと思いました |

資料7

質問9. 自由記述

| No. | 内容 | No. | 内容 |
|-----|---|-----|--|
| 1 | それぞれの思いを感じることができた 指使いもより簡単にしてもらえた | 38 | たくさんのお言があり、参考になった |
| 2 | たくさんポイントを教えてもらって貰ったと思います 書くことで残っていくので、忘れることがありませんでした | 39 | 2名の先生からアドバイスをもらうことで、よりどこを直して弾けば良いかが明確になった。 |
| 3 | いろんなこと教えてもらえてよかったです | 40 | 2名の先生から言葉がかけられて、頑張ろうと思えました |
| 4 | 個人の先生からは指番号や楽譜の話など細かい助言をもらい、集団の先生からは音のことや弾き方など、それぞれの視点で助言していただけて良かった | 41 | 違う人から意見をもらえることで、そのような考え方があるんだと思い、「なるほどな」と思い、練習の良い刺激になった。 |
| 5 | 2人の先生の意見が聞けてよかったです | 42 | 複数の先生から助言があることで、それぞれの視点での助言がもらえて役に立ち、うれしかったです |
| 6 | いろいろな助言がもらえるから良いと思う | 43 | 先生によって助言が違うので、いろいろな意見がもらえて、とてもよかったです |
| 7 | いろいろな情報を教えてくれたため、一生懸命頑張ろうと思いました | 44 | たまに言われることが違って、?となる時もあったけど、2名の先生から教えていただけたことは、自分のためになったし、曲もどんどんいいものになっていったので、よかったです |
| 8 | どちらの助言も参考になった | 45 | ダブルであったので直したらよいことなどをより多く知ることができたので良かったです |
| 9 | 2人の先生の意見が聞けてよかったです | 46 | 2名の先生の助言があったので、たくさん気づきを見つけることができ、練習がしやすくて良かったと思いました |
| 10 | それぞれの先生の意見があるので、それを頭に入れて頑張れたので、とてもよかったです | 47 | 同じことを言われることが多く、特に指使いのことを言われたので、気を付けるように練習した |
| 11 | 先生の言葉あることで、何が足りないのかが分かる 頑張ろうと思えました | 48 | たくさんアドバイスをいただけるのは良いけど、2人の先生の言っていることが違って、アドバイスされたことをすると、注意されるので、あまり良いとは思わなかった |
| 12 | 本当に心から応援してくれているようでやる気になった うれしかった | 49 | どちらの先生もアドバイスとして言ってくれているので、両方のことをしっかりと聴き、生かしてけるので、とても良いことだと思います。 |
| 13 | 言うことが違って混乱することもあるけれど、2人から聞けることは、良い機会です | 50 | 2人のアドバイスがあって、いろいろな練習方法があるのだとわかったから |
| 14 | 2人のいうことが違って、戸惑うこともありましたが、たくさん意見が聞けて良かったです | 51 | 2人の助言や意見が聞けるので良いと思いました |
| 15 | とても良い機会だと思った 2名の先生に教えてもらったことで頑張ろうと思えた | 52 | 2人の先生に同じ所を指摘されたら、ここは私の苦手なところなんだと気づくことができ、とても勉強になりました |
| 16 | いろいろな助言をもらうことができて良かったです | 53 | 両方頑張ろうと思った |
| 17 | それぞれの先生の意見を聞けるので、ためになった | 54 | 2人の先生から助言をもらったので、違う視点からアドバイスをもらえて、すぐ勉強になりました。そのことで、よりピアノの技術が上がったなと思って、すごく良かったです |
| 18 | どちらの助言もできるようになりたいと思う。2つのアドバイスがあるので、それをどうできるようにするか考えながら練習に取り組める | 55 | 同じことを言われていたら、直っていないということなので、重点に練習できた |
| 19 | 幅広い助言をしていただくことができ、自分もこの曲をどう弾けば良いか 考えることができました。ありがとうございました。 | 56 | 意見が違って、どっちが正解かよくわかりませんでした。 |
| 20 | どちらの先生からも言われたことは、私ができていない部分だということを受け止めて、練習することができました | 57 | 目的をしっかりと持て行うことができたので、助言もその時に合わせて、じぶんのペースでするのでよかったです。 |
| 21 | 教えてもらえてよかったです | 58 | 2名の先生からいろんな助言をもらうことで、自分の足りない部分をさらに強化していこうとできて良かったです |
| 22 | 2人の先生の意見が聞けて参考になりました | 59 | 2名の先生方に助言をいただくことで、弾けていない所や直すところを知ることができました。また、励ましの言葉をいただいた時、すごく頑張ろうという気持ちになりました。ありがとうございました。 |
| 23 | 毎週2人の先生から良かった所などのコメントがあって、頑張ろうと思えるところがありました。 | 60 | 違ってはいる所は直そうと思いました |
| 24 | 良いアドバイスをいただけてうれしいです。ちゃんと見てくれるんだと実感できるのも良いと思います。 | 61 | どちらを参考にすればよいか分からなかった。個人とグループで言われることが違うことが多く、戸惑うことも多かった。 |
| 25 | 先生との間で、少し違うアドバイスをもらえるのですが、どちらを中心にすれば良いか分からなくて、困ってしまうことがまれにありました。 | 62 | 両方からの意見が聞けて良かったと思う。 |
| 26 | 2名の先生がたの意見が違うこともあり、そういう所で少し戸惑ったので、少し共有してほしいです | 63 | 2名とも教えてくれる部分が違って細かく直すことができた |
| 27 | 先生から見て、私に必要なことなので、しっかり受け止めて生かしたいです。 | 64 | 先生によって書いてくださる視点が違ってためになっていると感じました。 |
| 28 | あまり意味がなくて感じた | 65 | どっちも思い出して練習する |
| 29 | 2名の先生の方が、いろんな見方があったり、意見をたくさん聞けるので、良かったと思います。 | 66 | 助かってました |
| 30 | たくさん先生からお話が聞けて良かった。 | 67 | 2名の先生から意見が聞けたので参考になった |
| 31 | それぞれに人数もたくさんいるのに、具体的なアドバイスや励ましの言葉が書かれていて、うれしかったです | 68 | 2名の先生からそれぞれたくさんアドバイスをもらえるので、練習でも何に気を付けたらいいのかなど、とてもためになりました。 |
| 32 | 1人の先生からだけでなく、2名の先生それぞれの目線から違ったアドバイスがいただけるので、学びに繋がりました。 | 69 | とても分かり易くて、楽しかったです。いつもできるとかあきらめたりしたらいけないなど、声をかけていただけて頑張ろうと思いました。 |
| 33 | 2名の先生からいろんな意見を聞くことができて良かった。 | 70 | 2名の先生からの助言によって、よりたくさん練習が大切だと学ぶことができたので、良かったと思いました。しかし、2名の先生の言っていることが違う時があったので、困ってしまう時もありました。 |
| 34 | それぞれの先生の意見が違ったので、とてもよかったです | 71 | いろいろな見方から自分のピアノを考えることができたので、有効だった |
| 35 | 2名の先生から言われることが所々違って、どのように弾くとよいのか、次の練習の時に、前週の先生に言われたことを伝えるか、どちらか分からず終わってしまい、戸惑った | 72 | たくさん意見がいただけるので、見直す機会になりましたが、2名の先生から違う意見をいただくと、非常に困りました。 |
| 36 | 2名の先生からの助言があることで、今週はどこができていなかったかを、毎週書つけて弾くことができたから良かった | 73 | お互いの違う感じ方が分かったので、いろいろな視点から見直すことができた。 |
| 37 | 1人の先生からだけでなく、2名の意見が聞けることで、いろんな意見を聞けて良かった | | |

資料 8

質問10 自由記述

| No. | 内容 |
|-----|--|
| 1 | その場では分からないことを知ることができた 言われた後だと少し自分が忘れてしまっていることがある |
| 2 | 励ましの言葉やこうするともっと良いというのを読んでるので、頭に残りました その言葉でやる気が起こりました |
| 3 | 一言で書いてあるため分かりやすいです |
| 4 | 後で書いてもらうことで、次のレッスンで見直し、練習を始められてよかった |
| 5 | とてもいい勉強になったと思います デメリットは、少しレベルの高いアドバイスだと思いました |
| 6 | メリットは、練習しやすくなる |
| 7 | 家で練習する時、修正する箇所が分かりやすくなる |
| 8 | デメリットはない レッスン中に言われたことに加えて、後から助言されるので、自分のためになると思います |
| 9 | 次の週に分かるので、これから治そうと思える 前に聞かないとダメなこともある |
| 10 | 気づけなかったことも、アドバイスいただけたので、とてもよかったです |
| 11 | レッスン中だとパニックになってしまうけど、後から落ち着いて読めるので、そうだったのか！となってしっかり伝わってきました |
| 12 | みんなの前では言えないこともお互いに言えてよかったです |
| 13 | 文字として残りため、後から読み返すことができるメリットがあります |
| 14 | 次の週に見て知ることがあるので、直接助言されるほうが、自分も練習できるので良いと思った |
| 15 | 書いてもらうと、次の週でもいつでも見返すことができるので良いと思いました |
| 16 | レッスンでは聞けないことも聞けるので良い しかし、書くだけでは伝わらないこともあった |
| 17 | レッスン中に言われるとその場でなおせるが、書いてもらうと1週間後になってしまうため、忘れてしまう。でも自分の練習で気を付けることが分かる |
| 18 | 先生方とのコミュニケーションの場ともなり、後でコメントを読み、励まされることが多くありました。デメリットは何も感じません。先生からのコメントを頂けることにより、練習への意欲に繋がりました。 |
| 19 | 練習中に教えてもらえることは、ピアノが前に有るため、より具体的に分かり易いけれど、書いてもらう方は、アドバイスが多かった。技術面でのことは、レッスン中に教えてもらうと良いので |
| 20 | 見返せるから良かったです |
| 21 | 文字でもらった言葉は、形に残るので、振り返ることができました。授業の終わりに渡されるが多かったので、各時間をゆっくり取れず焦りました。 |
| 22 | レッスン前にコメントを見て、どのように弾けばよいのか、確認してから練習できたので良かったです。 デメリットは、1週間空くので、忘れてしまったりすることがあります |
| 23 | 反省を書いて助言を書かれても、それが実際にピアノを弾くうえで影響されることはなかったです。紙の助言よりも、弾いているときに助言された方がすぐに弾き直したり改善することができるので、私は口での助言に力を入れたほうが良いと思いました。 メリットは、その場で言えないことでも、紙に書くことで連絡取りやすいことです。 |
| 24 | デメリットはあまりないと感じました。 レッスン中ピアノを弾いている姿を見て助言されますが、後で書いてもらう助言はもっと細かく書いてあるため、分かり易かったです |
| 25 | レッスン中の助言と同じことだったりする時は、見直して、また練習に出来ました。違うことだと2週間空いてしまうので、レッスン中に言ってくれれば直せたのになと思うこともありました。 ですが、助言をもらえることはどんなことでもうれしい事なのでよいと思います。 |
| 26 | 練習ではなく、本番での私の姿が分かると思った。 |
| 27 | ピアノの日に見るので、その日に直そうとしました。 |
| 28 | その場では時間がなく、教えられなかったことや、良かったよなどと書かれてあるとうれしかった デメリットは、言葉だけでは分かりにくい部分があった |
| 29 | もう一度、振り返ることができること |
| 30 | 言われたことを何度も思い出し、残しておけるのがメリットだと思います。そのおかげで、アドバイスをもらったところを意識して直して、頑張れました。 |
| 31 | 直すよという部分が両方書かれていた。 とてもやる気が出るような助言でよかった |
| 32 | メリットもデメリットもありません |
| 33 | 一週間たってから先生が書いてくださったプリントを見るので、もっと早く知れたらいいと思った。 練習の時に助言されたこととプラスで書いてもらうことがあったので、良かったです |
| 34 | 今週はここを見て下さるんだ、ということや、もうちょっとだからという助言をもらって、頑張ろうと思えた |
| 35 | 指摘が、文面の方がやわらかくなって、私たちも受け止めやすいと思った。 |
| 36 | 頑張ろうという励ましになりました。 |
| 37 | 後から自分の目で助言を見ることで、再確認できる |
| 38 | 直接聞けないと、指はわからなかった。 後から振り返ることができたので、良かったです |
| 39 | 一週間後しか助言を受け取ることができないので、その曲が終わっていることもあること 残るので、見返して思い出すことができる。 |
| 40 | 1週間のうちに忘れていたことを思い出せる良い機会だったと思うので良かったです。 しかし、一週間練習してきた後に助言を見ると、個々を意識して練習してこればよかったとなったので、早く知りたかったです |
| 41 | 良かったことは次の時に紙を見て思い出せるので。 |
| 42 | 助言というより、メッセージを書いていただくの方が多かったですが、的確な助言をいただけで本当に自分の力になっていました。 |
| 43 | 練習の中だけではなく、その髪を通してやり取りができる 授業中に書こうと思うので、その分、数が少なくなる |
| 44 | 再確認できるので、良いと思いました 練習中やレッスン中に書かないといけないので、時間が無かったりしてしまうことがデメリットだと思います |
| 45 | 後で見たらもう言われたことを思い出して、練習に生かすことができるのがメリット 言われていないようなことが書いてあったら、レッスン中に行ってほしかったと思うのがデメリット |
| 46 | よりたくさんアドバイスをもらえて良いと思うし、自身につながるのでも良いと思います |
| 47 | 家で練習で生かせるのがメリット デメリットは、学校での練習で言っていたらと学校からもやることのできることで、デメリットを挙げるとしたら、それだと思います でもどのアドバイスもとても役に立つことばかりで、とてもためになり、いいです |
| 48 | 冷静に読めるのでいいと思いました |
| 49 | 言われたことは1日で忘れてしまったことがあるけれど、書いてあると残しておくので、何度も振り返りが行われることはメリット。 |
| 50 | 毎週助言を見て、頑張ろうと思えた。それにこたえきれない自分がいたけど、無いよりあったほうが頑張れた |
| 51 | やはり紙に残るので、助言がいつでも見れるというのがすごくメリットだったし、見たい時に見直したりすることができたので良かったです |
| 52 | 普段できていることも、試験で出来なくなって、しまうので、気を付けようと思えるようになります |
| 53 | 後から書いてもらう助言は、その時の気持ちや技術を忘れてしまうので、デメリットがあると思います。しかし、後でゆっくりとアドバイスを見直すことができるのがメリット。 |
| 54 | いろんな助言をさえていて、忘れそうになっていたことが書かれていることがあったので、それを読んで、そういえばここはそうするんだってということを思い出しながらまた頑張ろうという思いになることができました。 |
| 55 | レッスン中に助言をいだと、どこを直すよとか、その場で理解することができるが、後で書いてもらったところがどこかたまにを分からない時がありました。ですが、助言があることでやる気にもつながりました。 |
| 56 | 書いてもらうと、後で読み返せるし、残せばいつでも見直せるので良いと思います。内容が薄い時があるので残念でした。レッスン中に言われた方が技術の控除につながると思えます |
| 57 | 書いてもらうと、後で残るので後から見直せるのがメリット。しかし一言くらいしか書いていなくて内容が薄く、レッスン中にされた助言の方がピアノの向上にはつながっていくのではないかと思った |
| 58 | 両方助言されるので良い |
| 59 | ちゃんと覚えていられる |
| 60 | 紙に残るので、覚えていられるので、後で反省できる |
| 61 | 先週のことを忘れていて、何か分からないことがある |
| 62 | 頑張ろうと思えた。その場で言ってほしかった |
| 63 | 授業中に助言されたことだけでなく、こうしたほうが良いというアドバイスがあるので、後からどんなことに気をつけて練習すればよいか分かるので良かった |
| 64 | レッスンの後でもアドバイスされたことなど見直すことができるので、練習する時もその助言を気を付けながら弾きました。プリントに残っているので、いつでも見れて良かったと思います。 |
| 65 | メリットは次に生かせることができ、次をどうしようと考えることができ、目標を決めることができました。デメリットは、すぐにその助言が分からないので、すぐ練習でどうしようと考えられないこと。 |
| 66 | 練習中に見つけることができない課題だと思うので、その次の授業中の練習につなげることができるのがメリット。逆にデメリットは、前回の課題を家で練習することができないので、そこがあとで書いてもらう助言のデメリットだと思います。 |
| 67 | 書いてもらうのは残るので、レッスンを進むにつれ「あの時はだめだったなあ」や「この時は良かったな」と考えられました。デメリットは、今その時に悩みを話したり、細かなところでのアドバイスをいただけないことかなと感じました。 |
| 68 | 一週間後に見直して意見をいただけるので、自分の苦手なことが分かると思いました。デメリットは、直接指導されたわけではないので、イマイチどう直したらいいかが分からないです。 |
| 69 | 練習の時の助言より、もう少し細かく書いてもらえるし、冷静になって読むから頭の中に入ってきやすかったです。 |